

科目名	デザイン実習 4B							年度	2026
英語科目名	Design Course 4B							学期	前期
学科・学年	デザイン科 イラストレーション専攻 3年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	吉見 純一	教員の実務経験		有	実務経験の職種		Webデザイナー		

【科目の目的】

本科目の目的は、Webデザインの基礎スキルを実践的に学び、学生自身の作品や個性を発信するポートフォリオサイトなどを制作することである。Figmaを活用し、レイアウト設計・配色・タイポグラフィ・情報整理といったWebデザインに必要な基本要素を理解し、実践する力を身につける。さらに、自身の制作物を社会へ伝えるアウトプットを体験することで、将来のキャリア形成に直結する基礎的な力を養う。

【科目の概要】

本科目は、Webデザイン初心者を対象に、Figmaを用いたWebサイトデザインの基本的な流れを学ぶ授業である。ポートフォリオサイトやオリジナルキャラクター紹介サイトなど、自分のテーマを自由に設定し、ワイヤーフレーム作成からデザインカンパ制作、最終的なWebサイトの完成イメージまでを行う。制作を通じてデザインの基礎スキルを実践的に理解し、個々の表現力を発揮する。

【到達目標】

本科目の到達目標は以下の通りである。A：Webサイトの情報設計を行い、明確な構造を整理できる力を養う。B：配色・タイポグラフィ・レイアウトといったデザイン基礎を理解し、適切に活用できるようになる。C：Figmaの操作を習得し、ワイヤーフレームからデザインカンパ、プロトタイプまで一貫した制作を行えるようにする。D：自分のテーマやコンテンツを効果的に発信する表現力を培う。E：成果物を整理し発表する力を身につけ、デザインプロセス全体を自らの力で完結できること。

【授業の注意点】

繰り返し復習することでスキルアップに繋げること。苦手とするところをそのままにせず、さらなる向上を目指すこと。また、実作業ではスピードも求められるため、作業の正確さ・速度アップにも繋がるよう意識する。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	サイト構造が明確で整理されている	大枠の構造が整理されている	構造が一応示されている	情報の整理が不十分	構造が成立していない
到達目標 B	配色・文字・レイアウトが的確で工夫がされている	配色や文字に工夫がある	デザイン基礎を理解している	デザイン原則が不十分	基礎理解が見られない
到達目標 C	機能を自在に活用し効率的	基本操作を問題なく活用	必要最低限の操作が可能	操作に多くの不備がある	操作がほとんどできない
到達目標 D	自分のテーマを効果的に発信	テーマをある程度発信できる	最低限テーマが伝わる	テーマが曖昧で伝わりにくい	テーマが発信できていない
到達目標 E	完成度高く発表し説得力がある	内容を整理して発表できる	発表が一応成立している	発表が不十分で伝わりにくい	発表が成立していない

【教科書】

参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

課題完成度50% 提出課題の完成度を評価する。
 リサーチ20% 制作準備と過程を評価する。
 相談検証20% 制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。
 平常点10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		デザイン実習 4B			年度	2026
英語表記		Design Course 4B			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	卒制・進路課題と自己プロデュースの位置づけを理解する	1 授業方針説明	卒制と自己プロデュースの方向性を明確にできる	2	
			2 卒制/進路課題確認			
2	制作進捗報告①+自己紹介演習	制作状況の共有と発表力の基礎を学ぶ	1 進捗発表	制作計画を修正し実行できる	2	
			2 課題確認			
3	制作作業①+プロフィール作成	制作を進めつつ自己表現を強化する	1 制作作業	自己を言語化して発信できる	2	
			2 指導と助言			
4	制作進捗報告②+ポートフォリオ整理①	作品の見せ方を説明する	1 発表と講評	成果物を整理して発信準備ができる	2	
			2 ポートフォリオ整理			
5	制作作業②+ポートフォリオ構成	制作と並行して構成を考える	1 制作作業	ポートフォリオ改善の基本構成を立てられる	2	
			2 改善作業			
6	就職課題対応①+模擬エントリー演習	実務課題を体験し応募力を強化する	1 企業課題制作	実務課題と自己PRを両立できる	2	
			2 模擬提出物作成			
7	制作進捗報告③+ポートフォリオ整理②	成果物とポートフォリオの方向性を確認	1 発表と質疑応答	成果とポートフォリオを連動できる	2	
			2 ポートフォリオ更新			
8	制作作業③+プレゼン準備	作品を仕上げ発表準備を進める	1 制作作業	発表資料を自己PRと結びつけられる	2	
			2 発表資料作成			
9	就職課題対応②+模擬面接①	発表力と対話力を実践的に磨く	1 就職課題発表練習	面接形式で自己を伝えられる	2	
			2 改善助言			
10	制作進捗報告④+ポートフォリオ共有	完成直前の仕上げと共有を行う	1 成果発表	作品とポートフォリオを第三者視点で確認できる	2	
			2 相互レビュー			
11	制作作業④+自己発信演習	発表資料とSNS発信力を鍛える	1 SNS用紹介文作成	自己発信を意識的に行える	2	
			2 模擬発信演習			
12	模擬発表①+模擬面接②	自己プロデュースを試行する	1 模擬発表	強みを多角的にアピールできる	2	
			2 フィードバック			
13	制作作業⑤+プレゼン最終調整	成果物と発表内容を完成させる	1 個別指導	完成物と発表を統合できる	2	
			2 発表練習			
14	模擬発表②+後輩への伝達演習	発表を通して後輩へ伝える意識を持つ	1 模擬発表	後輩を意識した発信ができる	2	
			2 フィードバック共有			
15	最終発表+総括	成果を発表し今後の自己プロデュース指針を整理する	1 課題発表	卒業後に向け自己を発信できる指針を持てる	2	
			2 総合講評			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等